

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.11
H26.10.1

赤組・白組 優勝おめでとう！（赤組 1006点 白組 1006点）運動会

今年の運動会は、赤組・白組とも優勝です！

赤白対抗の競技が終わってしばらくした時、得点係が「結果が出ました。」と、集計の紙をもってやってきました。その数字をみて、「えっ。」目を大きくして見直しました。両組とも1006点。このようなことがあるというのは、頭ではわかっています。しかし、実際に出会うとびっくりしてしまいます。驚いたと同時に何かほっとしたような気持ちになりました。「こんなことがあってもいいな。やろうと思ってもできないこと。素敵なことだ」と思いました。そして、得点発表の時の子どもたちの表情が楽しみになりました。



閉会式の得点発表で、千の位までの4桁の数字がひとつひとつわかってくると、「えっ。もしかして・・・」という声が聞こえてきます。結果がわかって、「えー。」と叫び声をあげて驚く子ども、残念な表情を示す子ども、「負けそうだったのに、負けなかったんだ」とほっとする子どもなどなど、子どもの様子も様々です。

この結果は、一人ひとりが最後まで力いっぱい走ったり、仲間と力を合わせたりしたからこそ出たものだと思います。赤組代表の金城さん、白組代表の木村さんが手をつないでこやかにトロフィーを受け取る姿がととてもすてきでした。橋北小学校の運動会の歴史に残る結果でした。

子どもの多くが「やるぞという強い気持ち」「自分のもっている力」をしっかりと出して「橋北だましい」をみせてくれました



運動会当日は、開会式の前に予定外の応援練習をしました。前日に時間がなくて練習出来なかったからなのですが、子どもたちの応援練習の音が校舎をバックに大きく響き、子どもたちの「やる気」を感じさせられました。「今日の運動会は、きっといい運動会になる」と、予感しました。

子どもたち一人ひとり表情を見ていますと、練習の時とは「違うな」と感じるくらいに真剣な表情で走ったり、一生懸命に踊ったり、表現したりなど、思わず

拍手して応援したくなる場面が何度となくありました。種目それぞれの過ぎるのが、とても速く感じられた運動会でした。

子どもたちは、保護者の皆様や地域の方々温かく大きな声援によって背中をぐっと押されて、**がんばれたのだと思います。ありがとうございました。**

運動会の取組で「いい力をつけて成長してきたな」「これからの成長の可能性を感じるな」と思う子どもたちがいます。たとえば、自分から進んで練習している姿です。リズムの動き方がわからなくて、友だちに教えてもらって練習する姿、友達も一生懸命に教えています。リレーのバトンパスがうまくいなくて、授業の後、何度も練習する姿です。

それぞれ得意なこともあれば、苦手なこともあります。しかし、その子どもなりに努力したり、努力している子どもを励まして一緒にがんばろうとする姿は、きっとこれからの学習や活動に生きるものと思います。こんな子どもの姿がふえるようこれからの2学期の取組に力を注ぎたいと思います。



